

みんなで創る松農発表会

去る 2 月 9 日（土）島根県民会館で松農発表会を行いました。例年この時期に発表会を行っています。昨年度は大雪が残る中での開催、一昨年度は大雪警報が出ていたため、発表会当日を休校とし、順延して卒業式前の 2 日間に行うなど、毎年雪に悩まされていましたが、今年は冷たい雨は降っていましたが雪の心配はなく、予定どおり行うことができました。

この発表会のメインは、各学科で行っているプロジェクト学習、課題研究のまとめの発表です。各科とも科別で発表会を行い、この発表会に出場する発表を決めてきました。午前中に各科代表のプロジェクト発表を行い、午後は先進地留学研修に出かけた生徒からの報告、総合学科 1 年生が行っているライフプランの代表生徒による発表、2 年生全員が 4 日間行ったインターンシップの報告発表という構成で、生徒会、農業クラブ、家庭クラブの 2 年生を中心とした新役員がスタッフとして運営にあたり実施しました。

生物生産科は、草花コースが『トルコキキョウの鉢栽培』、野菜コースが『美味しまね認証取得に向けて Vol.2』、生物工学コースが『玉造温泉インバウンド誘致作戦～美肌のまちにホテル光る～』、農業機械・作物コースは『島根県をマコモ県に Vol.4』の 4 つの発表でした。それぞれ栽培する上での課題や地域の課題を、科学的に解決するための取り組みを発表してくれていました。

環境土木科からは、『校内案内看板の作成』と『校内美化と技能検定の受検にむけて』というタイトルで、ドローンを使った写真撮影による校内看板の改修プロジェクトと習得した造園技能をもとに校内環境の整備と、専門家と連携した造園技能向上と検定試験に向けた取り組みが発表されました。

総合学科は、『島根を取り入れた和菓子作り』と『スイーツ甲子園を目指して』と創意工夫した和菓子やお菓子作りの研究成果発表と、『Let's Share Happy!!～ユニバーサルデザインの絵本を通して～』と『あいさつの歌を歌おう～子どもに受ける曲の創作～』と福祉系・保育系の勉強を行っている生徒からの研究成果発表がありました。

この発表会の様子は翌日の朝日新聞に取り上げていただき、「約 20 件のユニークで興味深い発表や報告に、全校生徒 459 人と保護者や教員らが熱心に耳を傾けた。」として当日の内容の一部を紹介していただきました。この日は生徒、保護者、教員のほかにも卒業生会長をはじめ松農会副会長・常任理事の皆様、学校評議員の方、島根大学、県教育委員会、県の農林水産部の方や農林大学校、松江市など様々な形で本校の教育活動を支援していただいている多くの来賓の皆様にも大勢ご参加いただきました。今年度はこの発表会を米子高等学校の先生方とも共有し、先月は本校から教員と生徒が米子高校さんの発表会に参加させていただき、この日同校から校長先生をはじめ 4 名の先生に参加していただきました。さらに、近隣の中学生も参加いただき、熱心にメモを取りながら本気で聴いていただいている姿が印象的でした。

それぞれの発表や報告を聴いて、どのように感想を持たれたかはアンケートを集計してみないとわかりませんが、この一日発表者、聴衆者とも一生懸命発表し、聴いてくれたのではないかと思います。人の経験や考えを聴き、自分の思考やこれからの経験に生かすことは大事なことで、発表に耳を傾けていた生徒や、熱心にメモをとる中学生のように、子どもたちに自ら教わり自ら育つような雰囲気があったことは非常に嬉しく感じました。